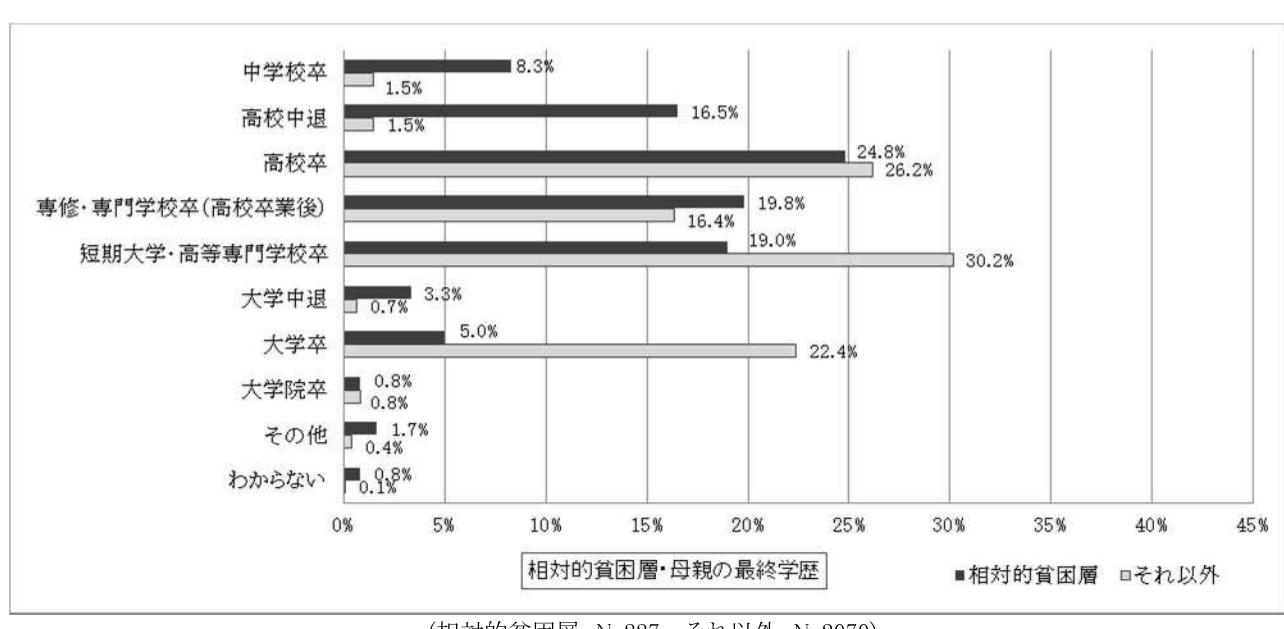
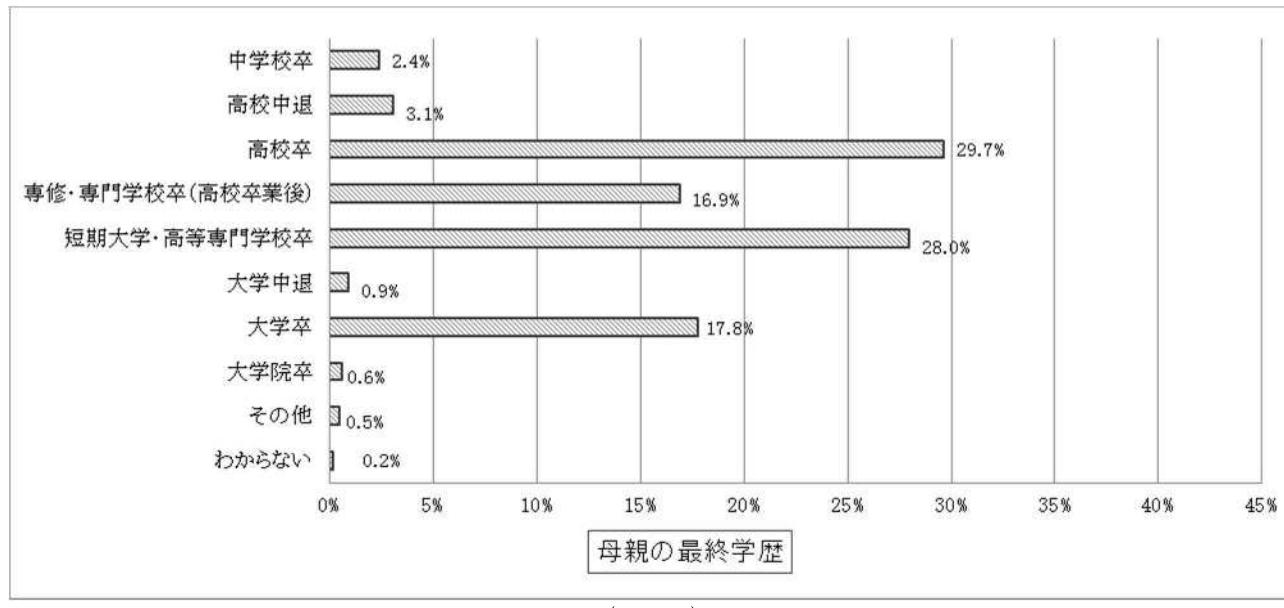


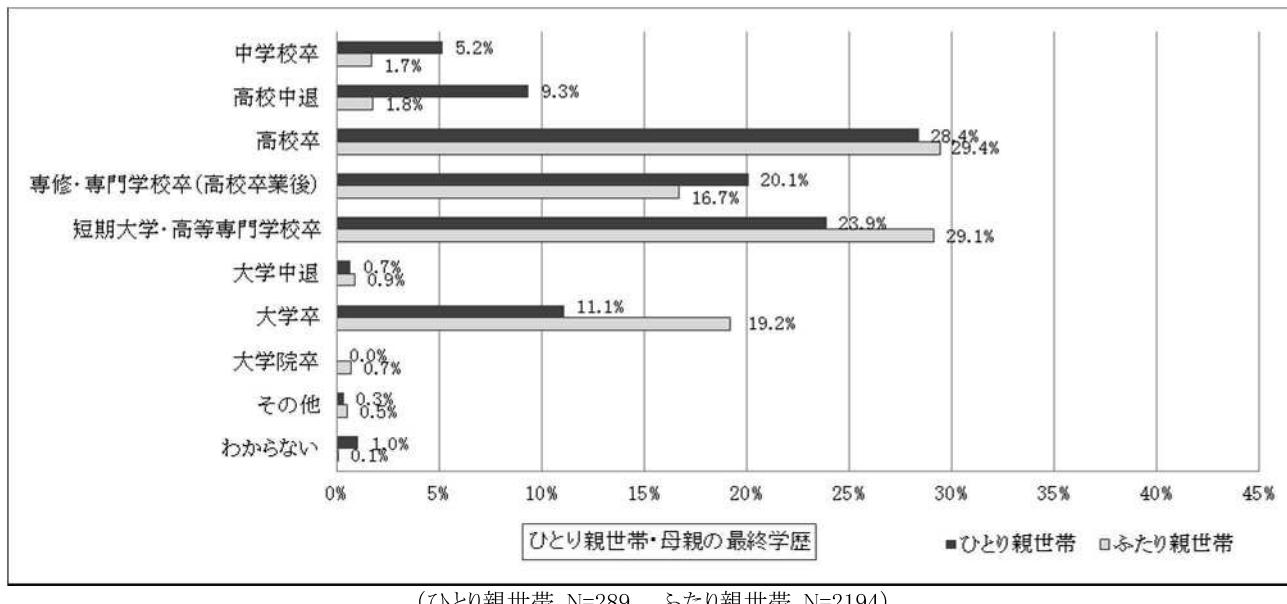
3. 保護者の状況と子どもとの関わり

問 8-1 このアンケートを持ち帰ったお子さんの母親が最後に通った（または在学中の）学校をお答えください。

もっとも多い回答は、「高校卒」(29.7%)で、次いで「短期大学・高等専門学校卒」(28.0%)、「大学卒」(17.8%)、「専修・専門学校卒」(16.9%)と続きます。

相対的貧困層では、「高校卒」(24.8%)がもっと多く、「専修・専門学校卒」(19.8%)、「短期大学・高等専門学校卒」(19.0%)、「高校中退」(16.5%)と続きます。「それ以外」と比べて「大学卒」の割合が17ポイント以上低く、「中学校卒」「高校中退」の合計の割合が約22ポイント高くなっています。



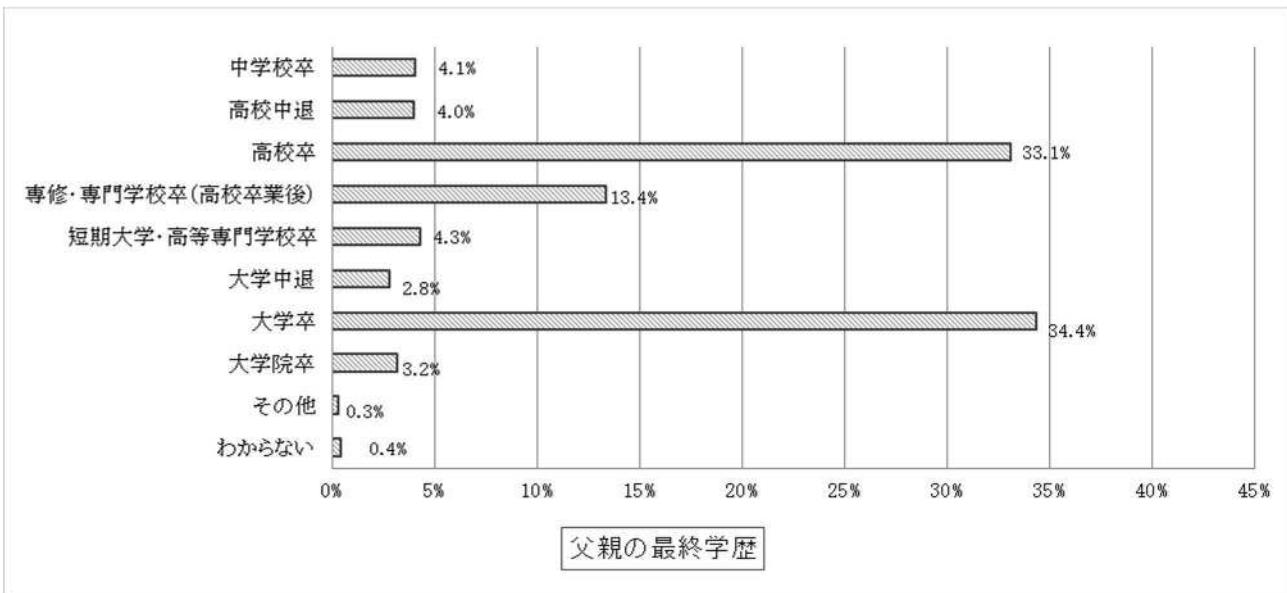


(ひとり親世帯 N=289 ふたり親世帯 N=2194)

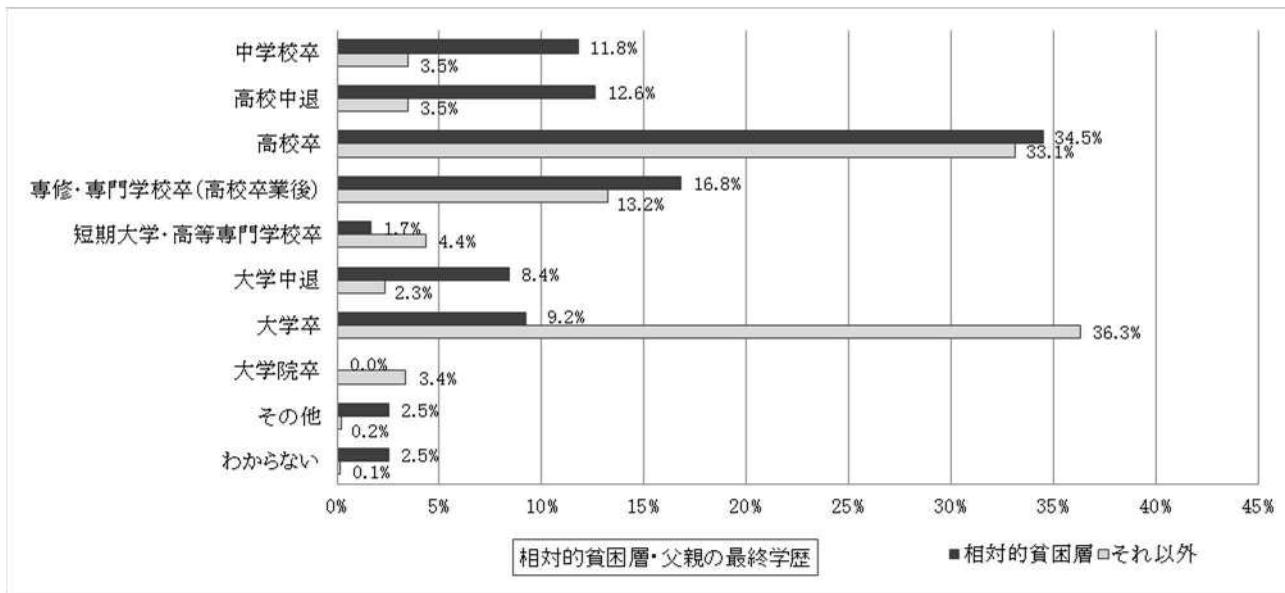
問8-2 このアンケートを持ち帰ったお子さんの父親が最後に通った（または在学中の）学校をお答えください。

もっとも多い回答は「大学卒」(34.4%)で、「高校卒」(33.1%)、「専修・専門学校卒」(13.4%)と続きます。

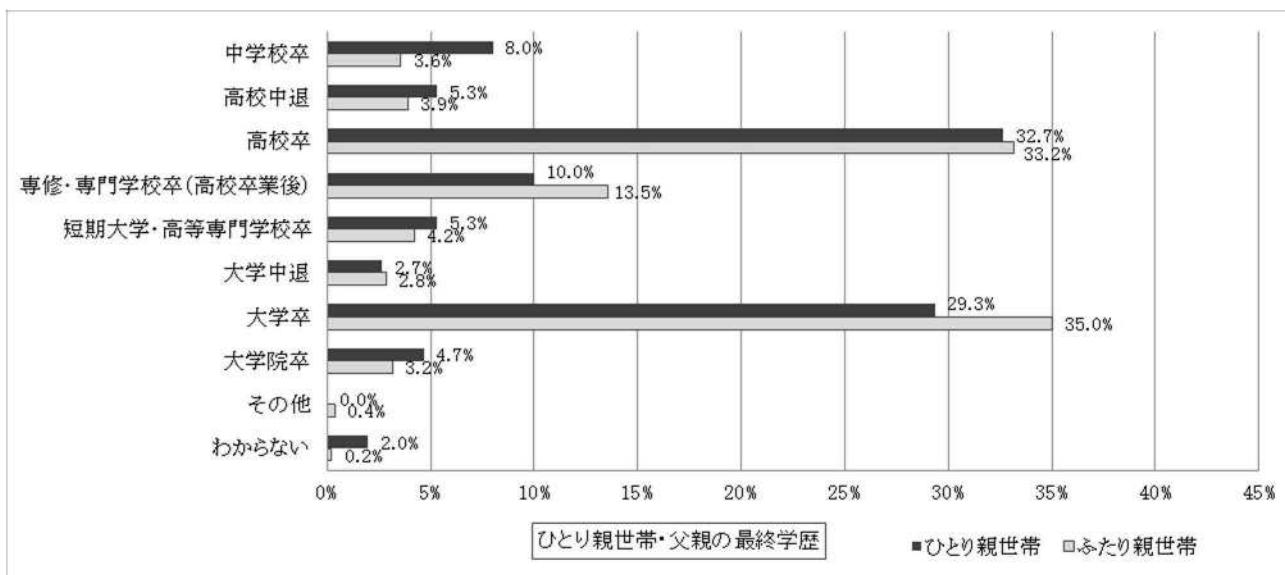
相対的貧困層では、「高校卒」(34.5%)がもっと多く、次に多いのが「専修・専門学校卒」(16.8%)です。「それ以外」と比べて「大学卒」の割合が27ポイント低く、「中学校卒」「高校中退」の合計の割合が約17ポイント高くなっています。



(N=2374)



(相対的貧困層 N=119 それ以外 N=2016)



(ひとり親世帯 N=150 ふたり親世帯 N=2185)

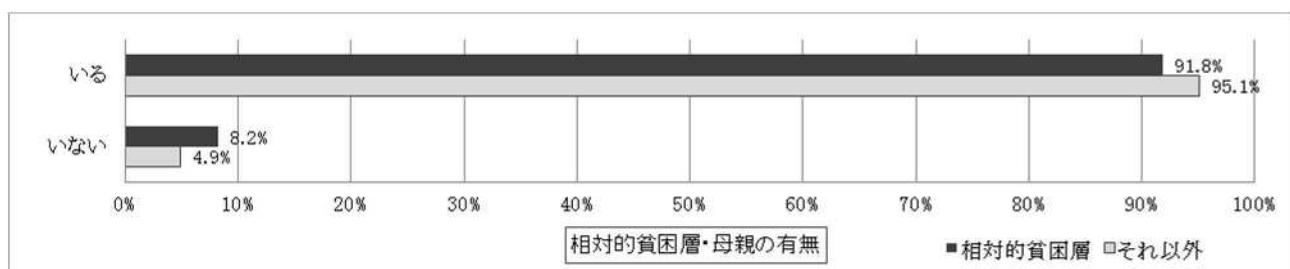
問9(1) 母親の有無

母親が「いる」という回答は約95%です。

相対的貧困層では、「いない」(8.2%)の割合が「それ以外」に比べて3ポイント程度高くなっています。



(N=2594)

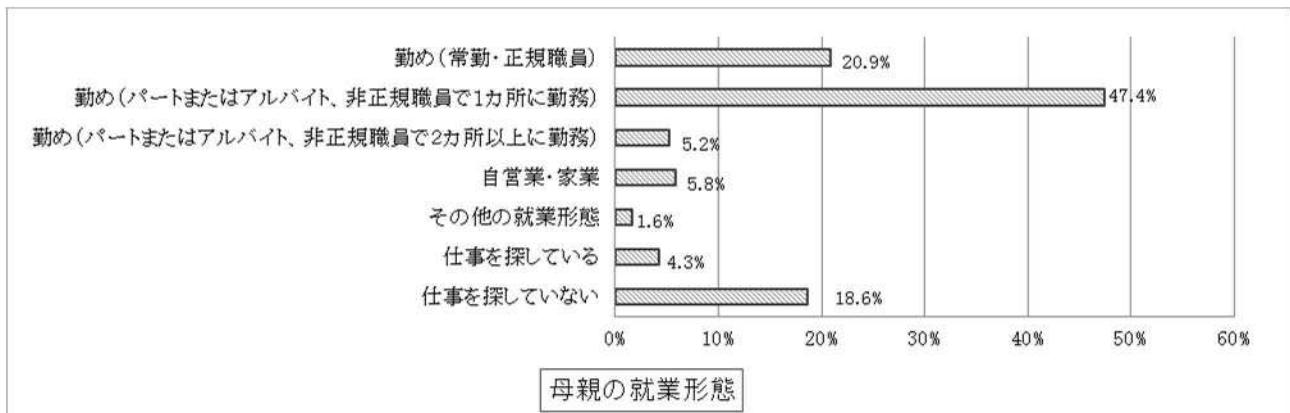


(相対的貧困層 N=232 それ以外 N=2089)

問9(1)-1 母親の就業形態（複数選択）

「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1カ所に勤務）」が5割弱でもっとも多く、次いで多い「勤め（常勤・正規職員）」は2割程度です。

相対的貧困層と「それ以外」の間に統計的な差は見られません。

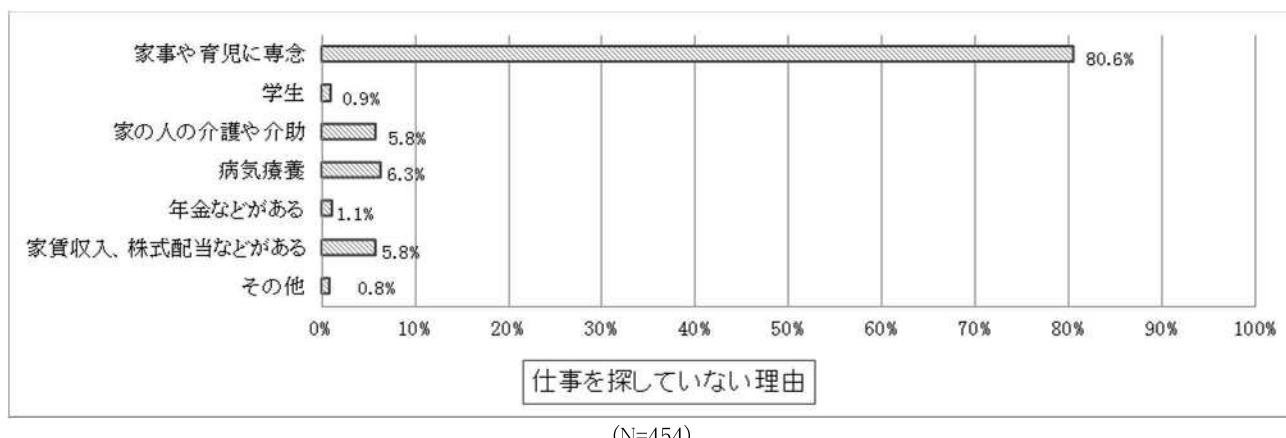


(N=2449)

問9(1)-2 母親が仕事を探していない理由（複数選択）【問9(1)-1で「仕事を探していない」と回答した人を対象】

母親が仕事を探していない理由でもっとも多い回答は、「家事や育児に専念」で約8割になります。

相対的貧困層と「それ以外」の間に統計的な差は見られません。

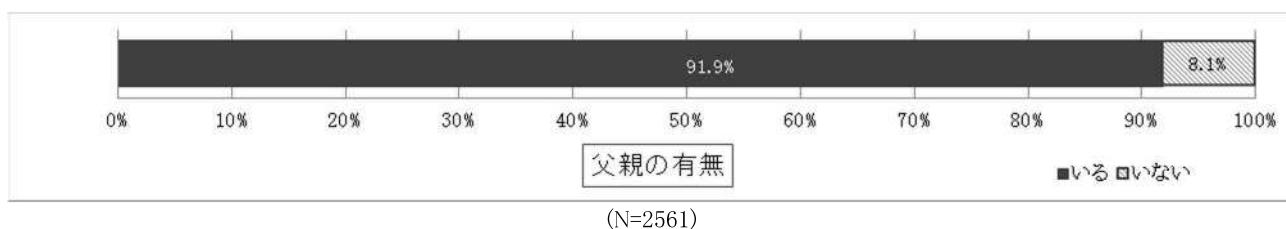


(N=454)

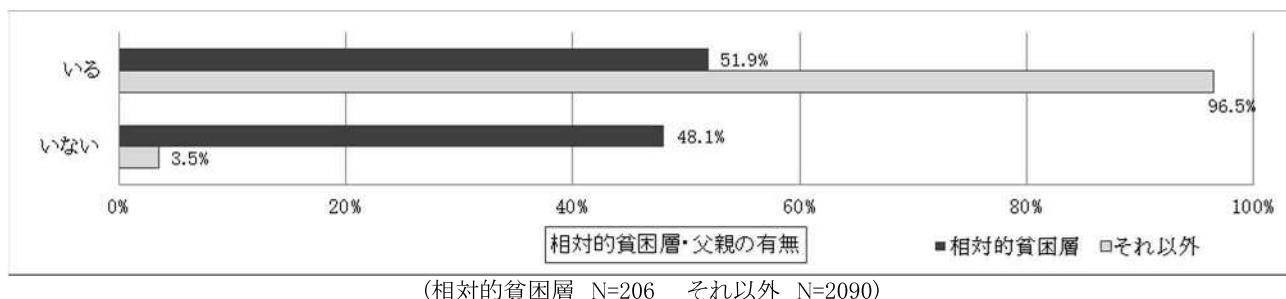
問9(2) 父親の有無

父親が「いる」という回答は91.9%でほぼ9割です。

相対的貧困層では「いる」が51.9%で、「それ以外」(96.5%)に比べてほぼ2分の1になっています。



(N=2561)

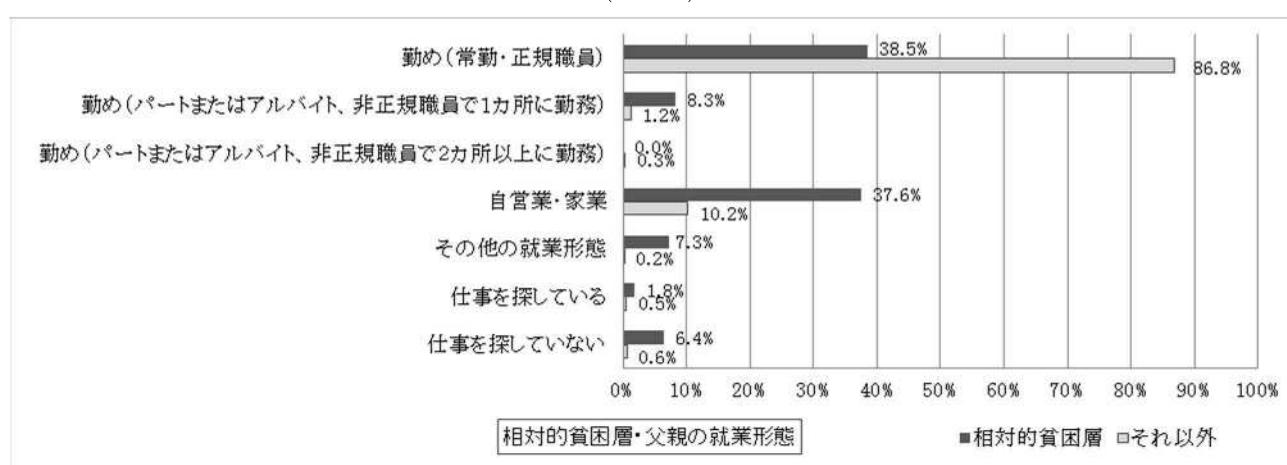
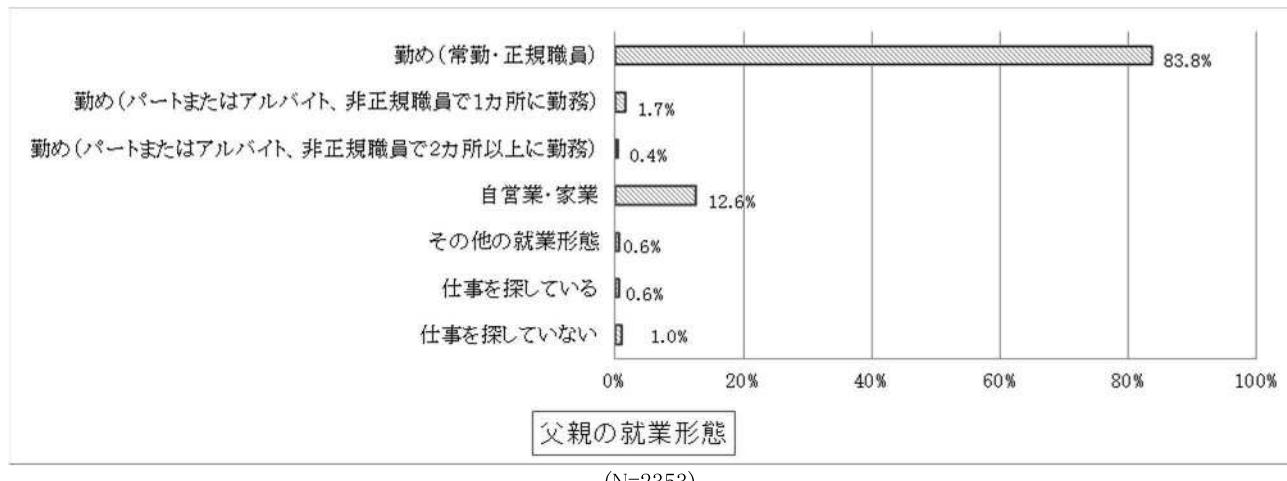


(相対的貧困層 N=206 それ以外 N=2090)

問9(2)-1 父親の就業形態

もっとも多い回答は「勤め（常勤・正規職員）」で8割以上です。次いで「自営業・家業」が12.6%です。

相対的貧困層では、「勤め（常勤・正規職員）」の割合が「それ以外」に比べて2分の1以下になっていますが、「自営業・家業」の割合は「それ以外」より28ポイント高くなっています。



問9(2)-2 父親が仕事を探していない理由（複数選択）[問9(2)-1で「仕事を探していない」と回答した人を対象]

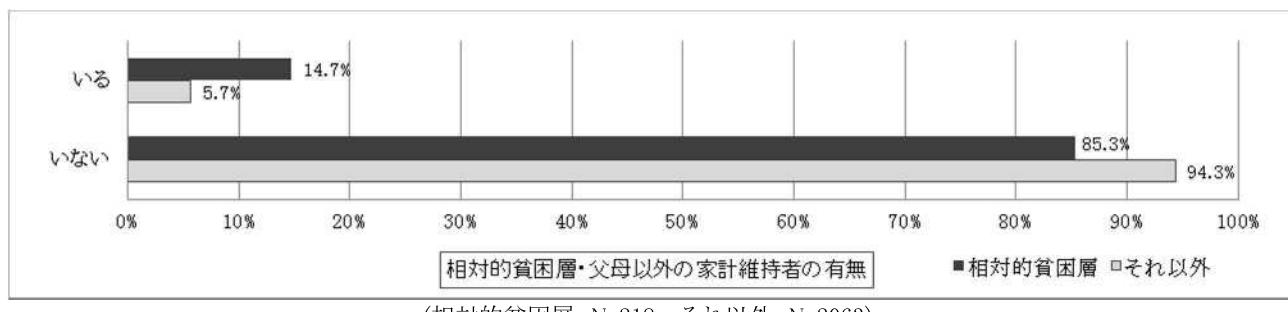
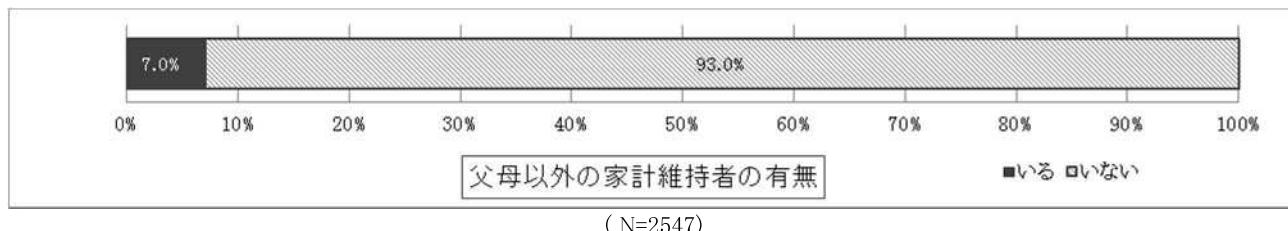
この項目の条件にあてはまるケースは24人と、非常に少ないとみ、各項目のケース数を（）内で掲載します。

「家事や育児に専念」(1)、「学生」(0)、「家の人の介護や介助」(1)、「病気療養」(10)、「年金などがある」(5)、「家賃収入、株式配当などがある」(3)、「その他」(7)です。

問9(3) 母親、父親以外に主として家計を支えている方はいますか。

父母以外の家計維持者がいる家庭は、7.0%です。

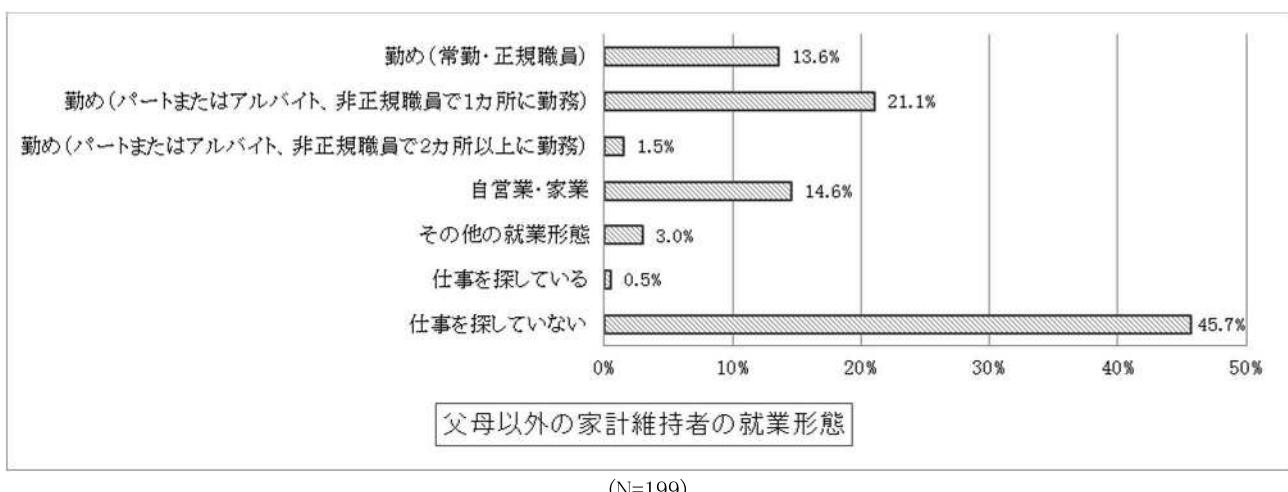
相対的貧困層では、父母以外の家計維持者がいる割合は14.7%で、「それ以外」より9ポイント高くなっています。



問9(3)-1 父母以外の家計維持者の就業形態

もっとも多い回答は、「仕事を探していない」で45.7%です。次いで「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1カ所に勤務）」(21.1%)、「自営業・営業」(14.6%)です。

相対的貧困層と「それ以外」の間に統計的な差は見られません。



問9(3)-2 父母以外の家計維持者が仕事を探していない理由（複数選択）[問9(3)-1で「仕事を探していない」と回答した人を対象]

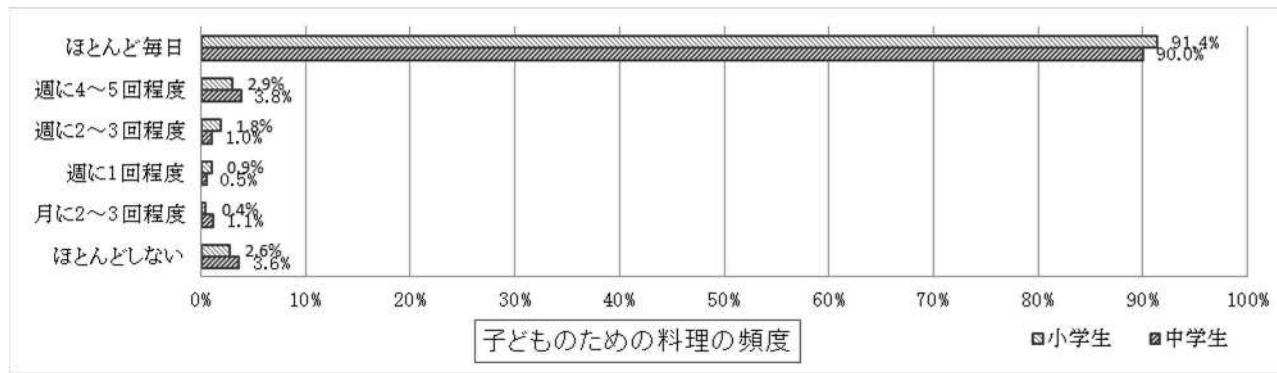
この項目の条件にあてはまるケースは90人と少ないため、グラフは掲げていません。

もっとも多い回答は、「年金などがある」で約4割です。

問10① お子さんのために、食事を作る（料理をする）ことがどのくらいありますか。

小学生、中学生の保護者ともに「ほとんど毎日」が9割を占めます。次いで小学生の保護者では「週に4～5回程度」(2.9%)、「ほとんどしない」(2.6%)の順です。中学生の保護者では、「週に4～5回程度」(3.8%)、「ほとんどしない」(3.6%)と続きます。

相対的貧困層と「それ以外」の間に統計的な差は見られません。

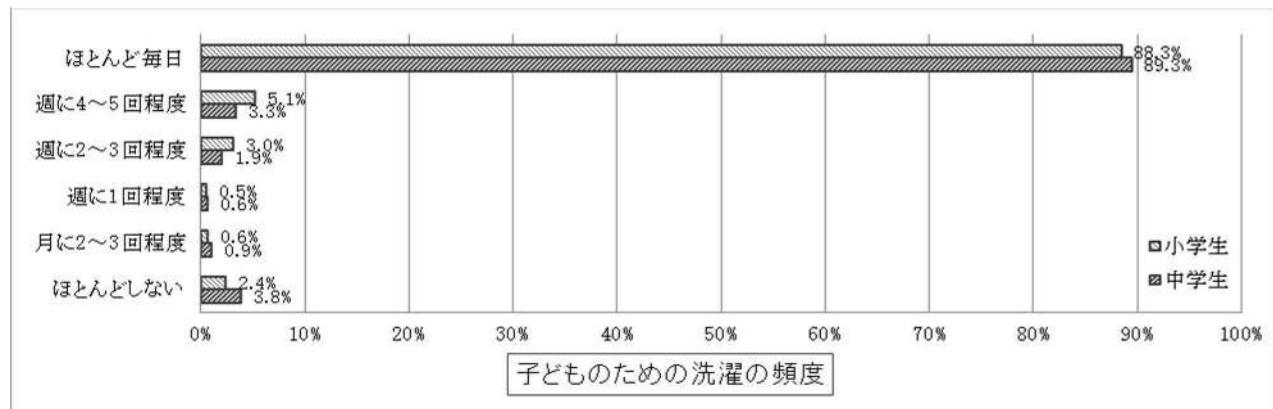


(小学生 N=1519 中学生 N=1081)

問10② お子さんのために、洗濯をすることがどのくらいありますか。

小学生、中学生の保護者ともにもっとも多い回答は、「ほとんど毎日」で約9割です。次いで小学生の保護者では「週に4～5回程度」(5.1%)、「週に2～3回程度」(3.0%)の順です。中学生の保護者では「ほとんどしない」(3.8%)、「週に4～5回程度」(3.3%)と続きます。

相対的貧困層では、小学生の保護者で統計的な差が見られます、「ほとんど毎日」と「週に4～5回程度」を合わせると「それ以外」との差はなくなるため、グラフは掲げていません。

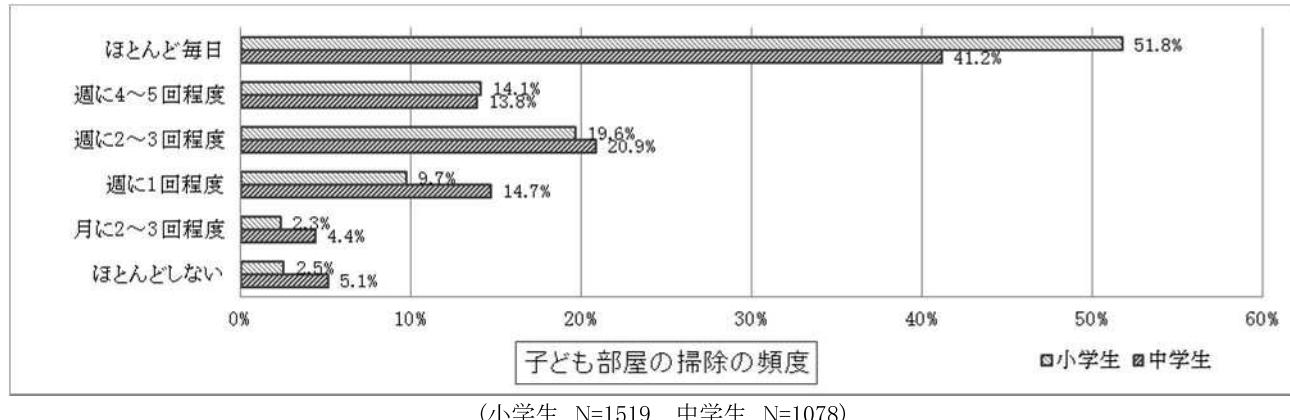


(小学生 N=1519 中学生 N=1079)

問10③ お子さんのために、部屋を掃除することがどのくらいありますか。

もっとも多い回答は「ほとんど毎日」で、小学生の保護者（51.8%）と中学生の保護者（41.2%）で10ポイント以上の差があります。次いで小学生の保護者では、「週に2～3回程度」（19.6%）、「週に4～5回程度」（14.1%）の順です。中学生の保護者では「週に2～3回程度」（20.9%）、「週に1回程度」（14.7%）と続きます。子どもの部屋を掃除する頻度は、中学生の保護者で低くなっています。

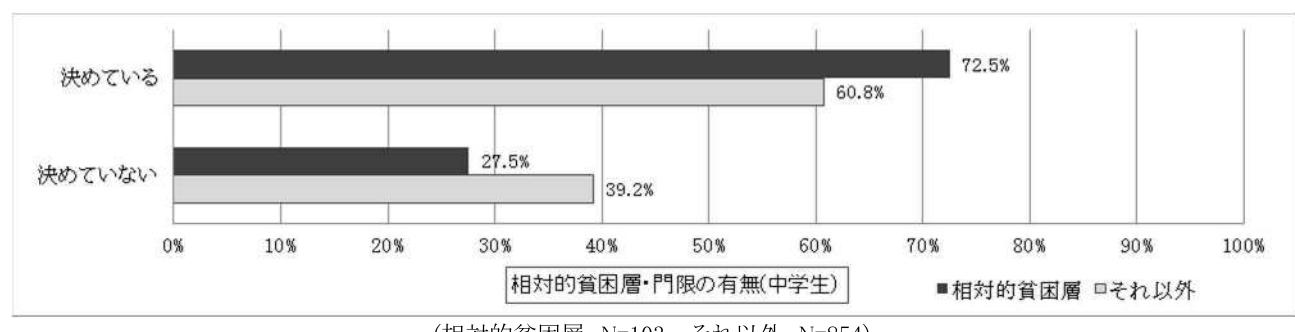
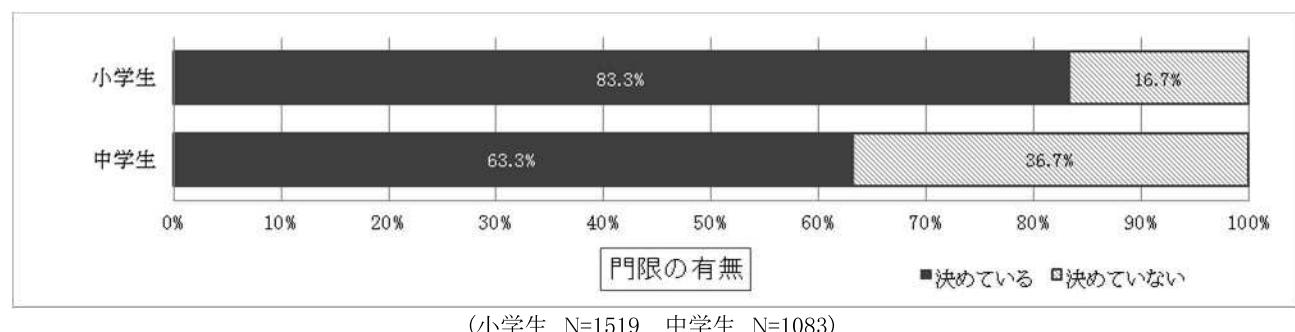
相対的貧困層と「それ以外」の間に統計的な差は見られません。



問11 あなたのご家庭では、現在お子さんに門限を決めていますか。

小学生、中学生の保護者ともに門限を「決めている」という回答が多いですが、小学生の保護者では83.3%に対し、中学生の保護者では63.3%と、20ポイントの差があります。

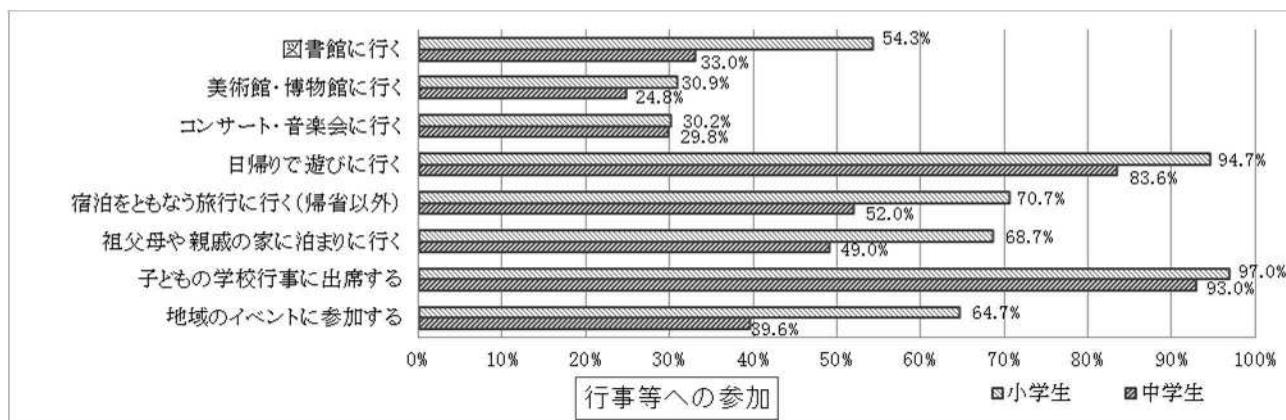
相対的貧困層では中学生の保護者の72.5%が門限を「決めている」に対し、「それ以外」では60.8%です。小学生の保護者では統計的な差は見られません。



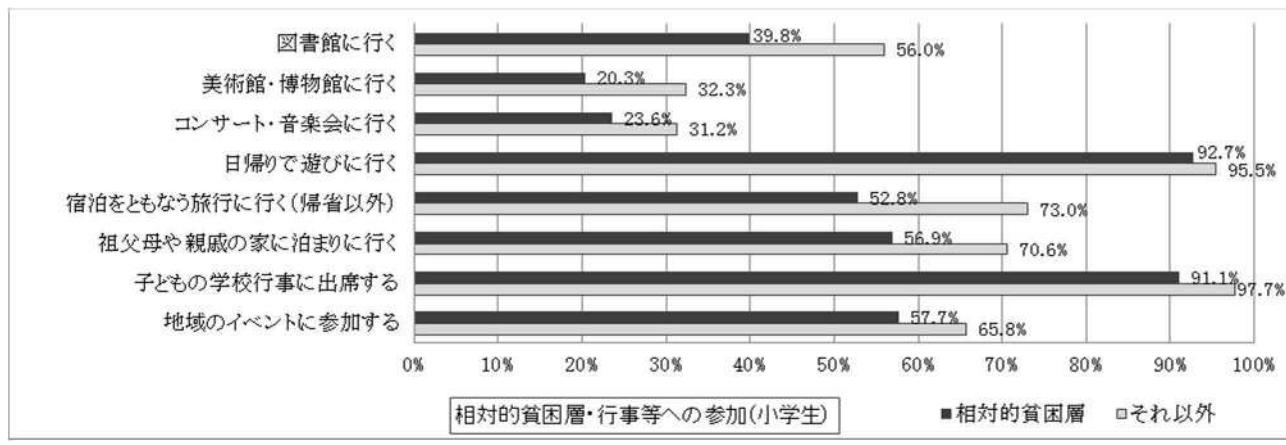
問12 各種行事への参加（複数回答）

もっとも多い回答は「子どもの学校行事に出席する」で、小学生の保護者で97.0%、中学生の保護者で93.0%と高く、次いで「日帰りで遊びに行く」（小学生94.7%、中学生83.6%）、「宿泊をともなう旅行に行く」（小学生70.7%、中学生52.0%）と続き、子どもと一緒に遊びや旅行に出かける機会が多いことがわかります。

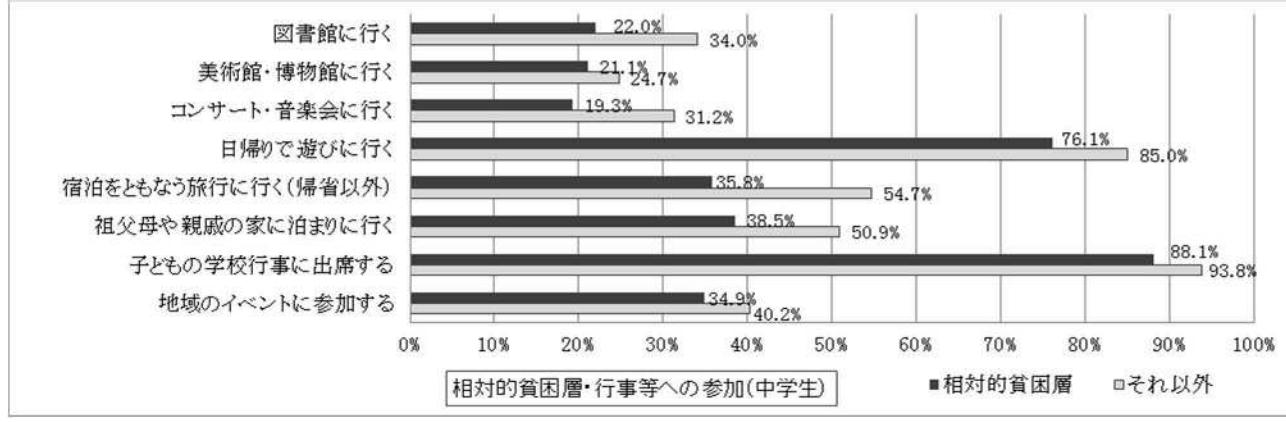
相対的貧困層では、小学生の保護者で「日帰りで遊びに行く」（92.7%）がもっと多く、次いで「子どもの学校行事に出席する」（91.1%）、「地域のイベントに参加する」（57.7%）と続きます。中学生の保護者でもっとも多い回答は「子どもの学校行事に出席する」（88.1%）、次いで「日帰りで遊びに行く」（76.1%）、「祖父母や親戚の家に泊まりに行く」（38.5%）の順です。相対的貧困層における小学生、中学生の保護者ともに、「それ以外」に比べて各選択肢の回答の割合が低いことがわかります。



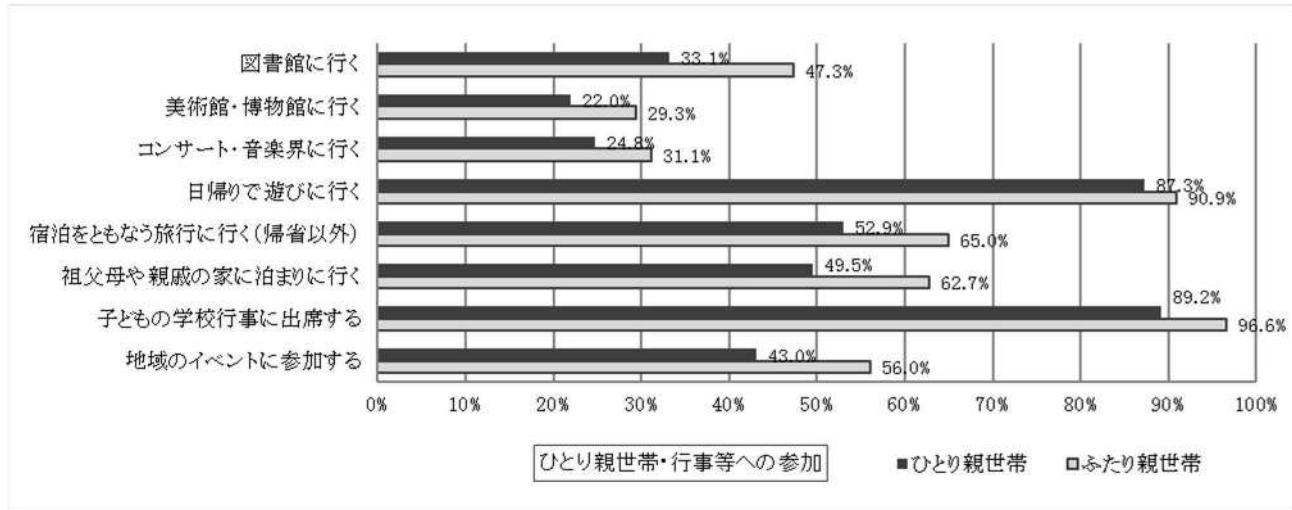
(小学生 N=1522 中学生 N=1089)



(相対的貧困層 N=123 それ以外 N=1242)



(相対的貧困層 N=109 それ以外 N=858)

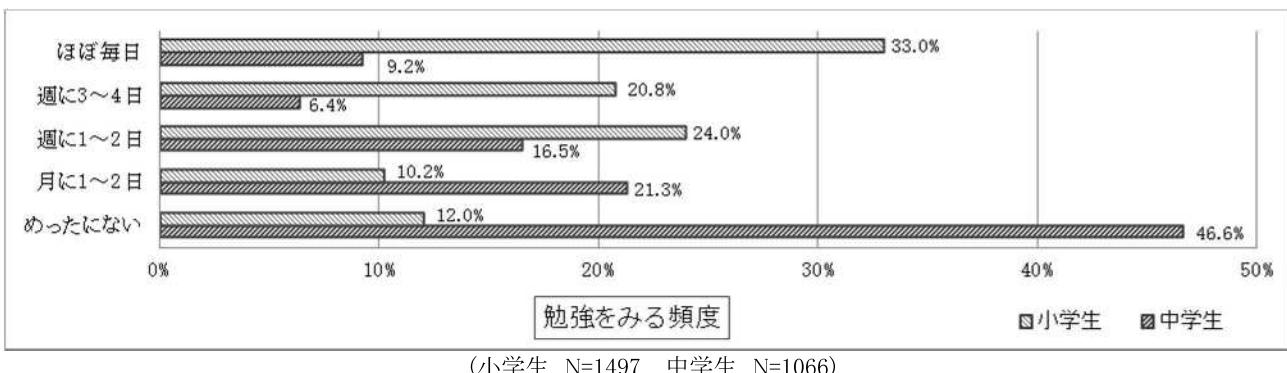


(ひとり親世帯 N=323 ふたり親世帯 N=2206)

問13① お子さんの勉強を見る

小学生の保護者では「ほぼ毎日」(33.0%)がもっとも多く、次いで「週に1~2日」(24.0%)、「週に3~4日」(20.8%)と続きます。中学生の保護者でもっとも多い回答は「めったにない」(46.6%)で、「月に1~2日」(21.3%)、「週に1~2日」(16.5%)と続きます。

相対的貧困層と「それ以外」の間に統計的な差は見られません。

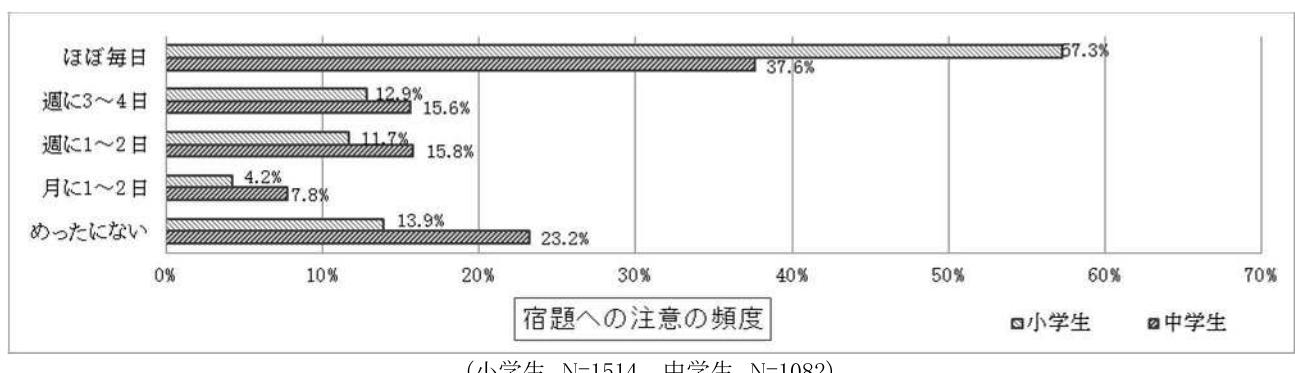


(小学生 N=1497 中学生 N=1066)

問13② お子さんが宿題をするように注意する

もっとも多い回答は小学生、中学生の保護者ともに「ほぼ毎日」ですが、小学生が57.3%であるのに對し、中学生は37.6%で約20ポイントの差があります。次に「めったにない」という回答が多く、小学生の保護者で13.9%、中学生の保護者では23.2%です。

相対的貧困層と「それ以外」の間に統計的な差は見られません。

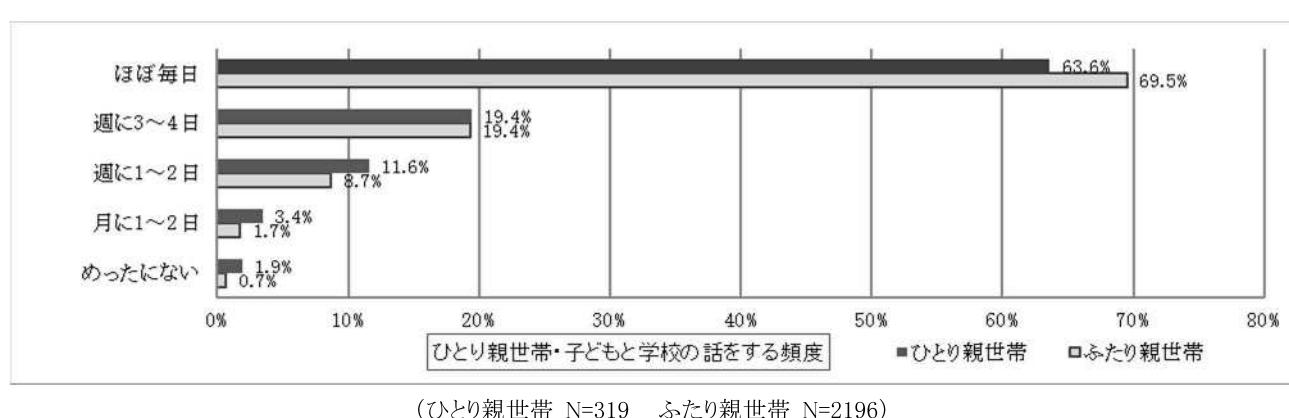
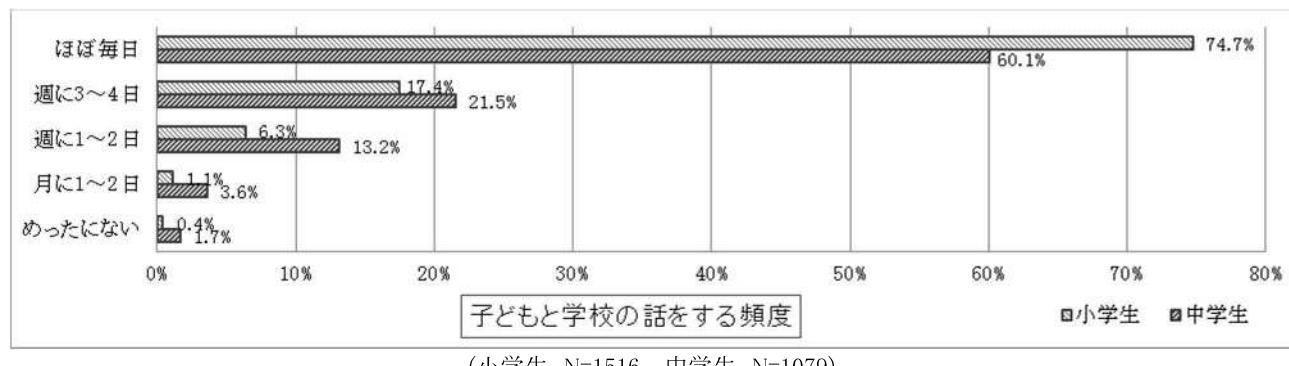


(小学生 N=1514 中学生 N=1082)

問13③ お子さんと学校生活の話をする

「ほぼ毎日」という回答がもっとも多く、小学生の保護者で 74.7%、中学生の保護者では 60.1%ですが、約 15 ポイントの差が見られます。小学生の保護者より中学生の保護者の方が子どもと学校生活の話をする機会が少ないことがわかります。

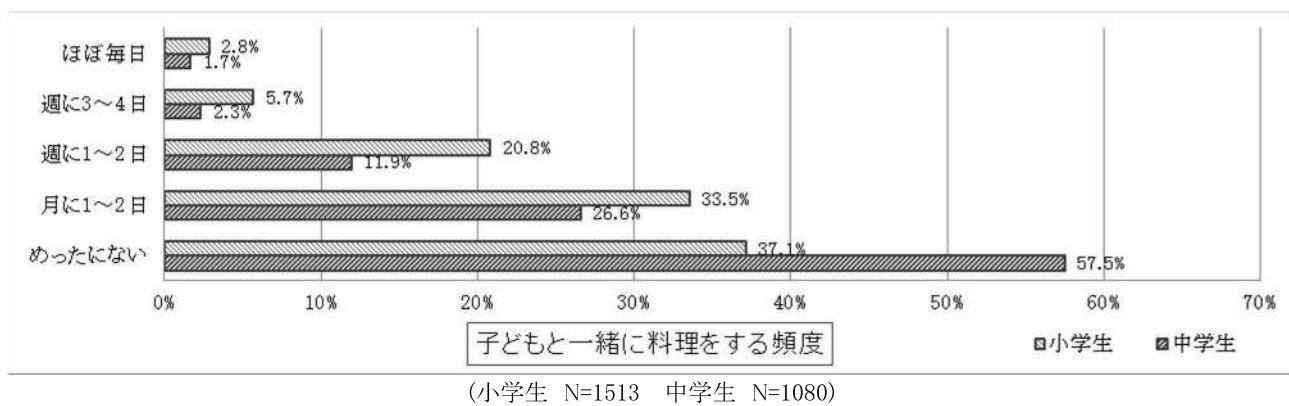
相対的貧困層と「それ以外」の間に統計的な差は見られません。



問13④ お子さんと一緒に料理をする

「めったにない」という回答がもっとも多く、小学生の保護者で 37.1%、中学生の保護者で 57.5%です。「週に 1～2 日」以上一緒に料理をする回答は、小学生の保護者で約 3 割に対し、中学生の保護者では 1 割半ほど、小学生の保護者の方が子どもと一緒に料理をする機会が多いことがわかります。

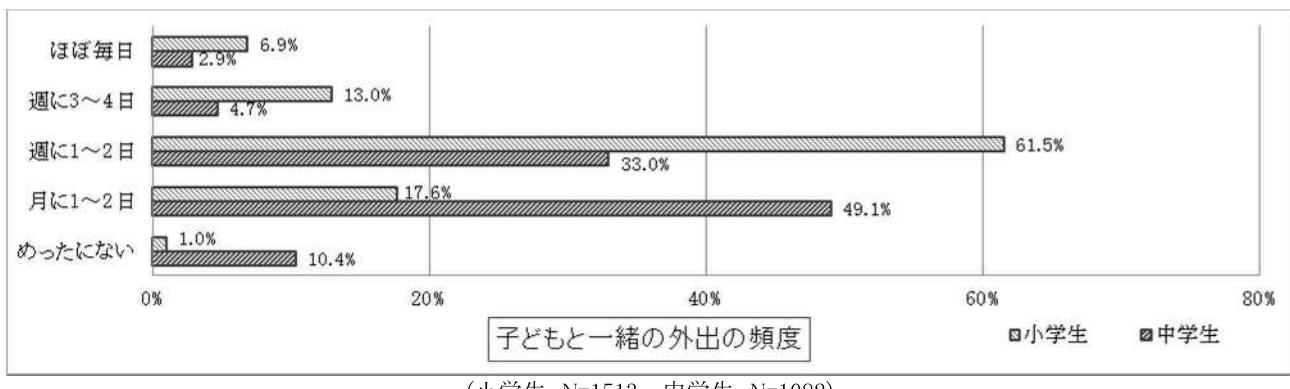
相対的貧困層と「それ以外」の間に統計的な差は見られません。



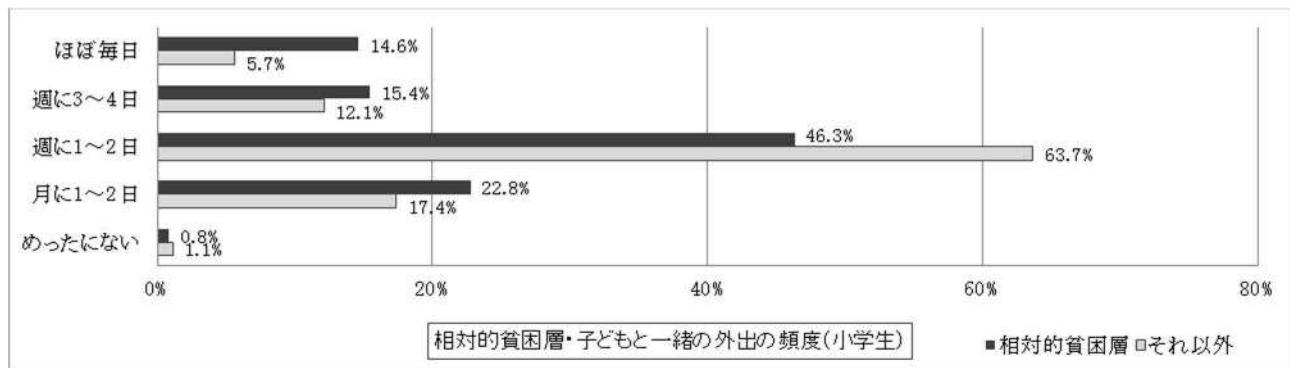
問13⑤ お子さんと一緒に外出する

もっとも多い回答は小学生の保護者で「週に1～2日」(61.5%)で、中学生の保護者では「月に1～2日」(49.1%)です。「めったにない」という回答は小学生の保護者の1.0%に対して、中学生の保護者では10.4%です。中学生は保護者と外出することが小学生に比べて少ない傾向があります。

相対的貧困層では、小学生の保護者で「ほぼ毎日」(14.6%)「週に3～4日」(15.4%)と、頻度の高い回答の割合が「それ以外」より高く、子どもとの外出が多い傾向にあります。中学生の保護者では統計的な差は見られません。



(小学生 N=1513 中学生 N=1082)

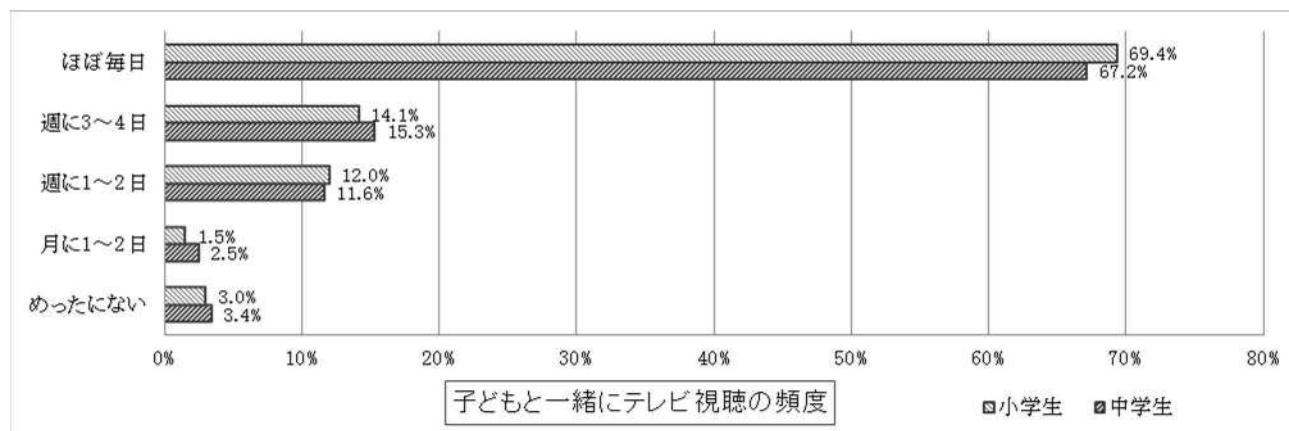


(相対的貧困層 N=123 それ以外 N=1236)

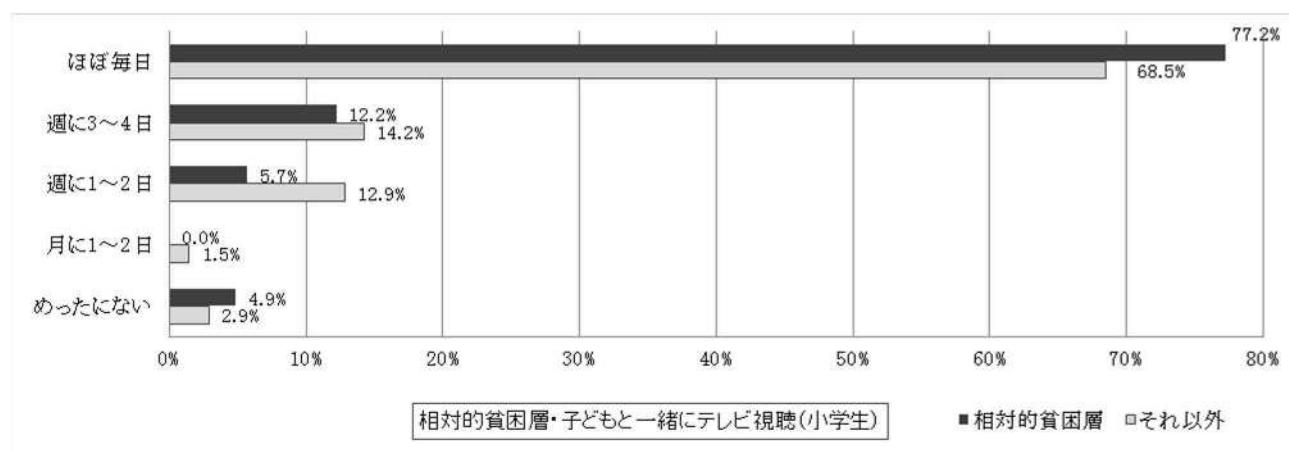
問13⑥ お子さんと一緒にテレビを見る

小学生、中学生の保護者ともに「ほぼ毎日」がもっとも多い回答で、約7割を占めています。次いで「週に3~4日」、「週に1~2日」と続きます。

相対的貧困層では、小学生の保護者で「ほぼ毎日」という回答の割合が「それ以外」に比べて9ポイント近く高くなっています。中学生の保護者では統計的な差は見られません。



(小学生 N=1514 中学生 N=1084)

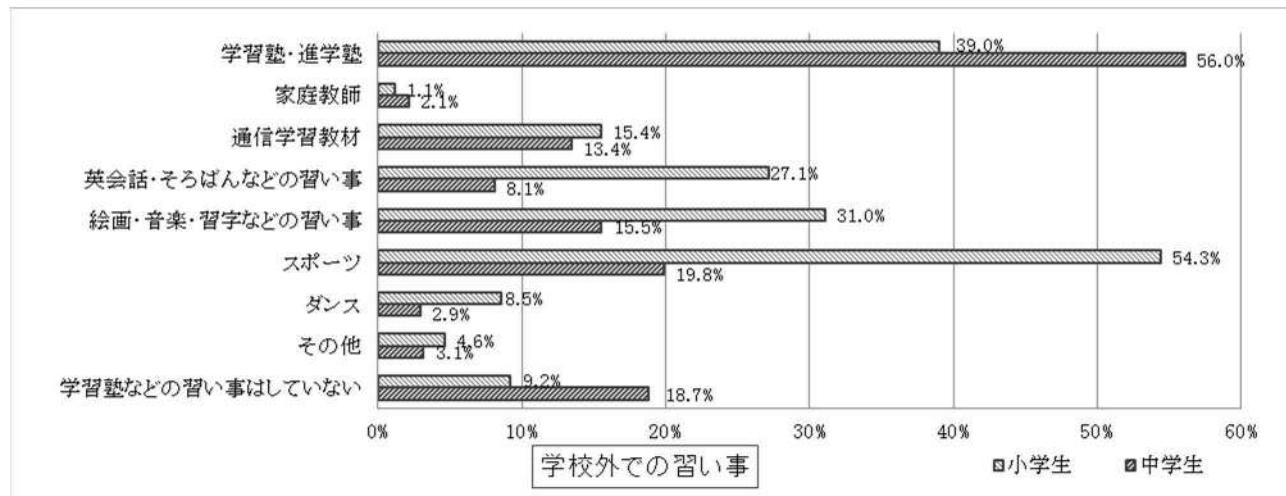


(相対的貧困層 N=123 それ以外 N=1236)

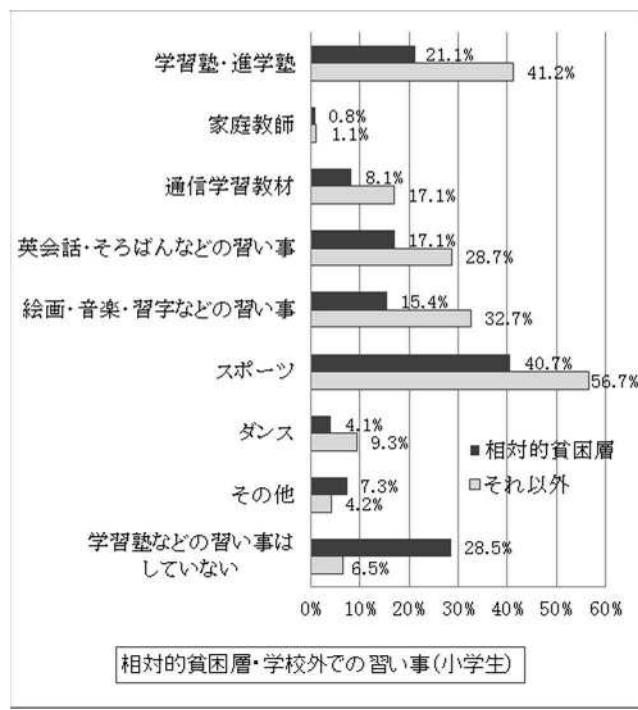
問14 お子さんは現在、塾に行ったり習い事をしたりしていますか。費用がかからないサークル活動などは含めずにお答えください。(複数回答)

小学生の保護者でもっとも多い回答は、「スポーツ」(54.3%)で、次いで「学習塾・進学塾」(39.0%)、「絵画・音楽・習字等の習い事」(31.0%)、「英会話・そろばん等の習い事」(27.1%)の順です。中学生の保護者では「学習塾・進学塾」(56.0%)がもっと多く、「スポーツ」(19.8%)、「学習などの習い事をしていない」(18.7%)と続きます。「学習塾などの習い事をしていない」という中学生は小学生に比べて約2倍です。

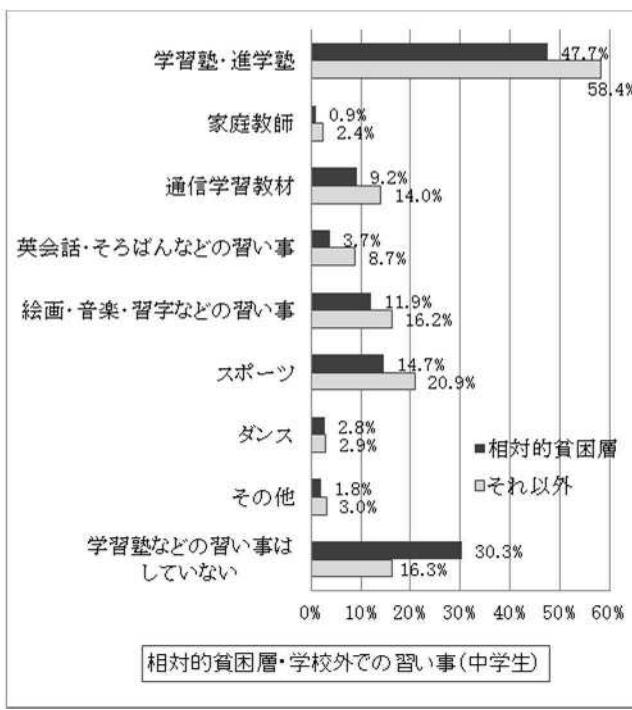
相対的貧困層では小学生、中学生の保護者ともに項目の選択順位は変わらないものの、「それ以外」に比べて、習い事をしている割合が低くなっています。



(小学生 N=1522 中学生 N=1089)



相対的貧困層・学校外での習い事(小学生)



相対的貧困層・学校外での習い事(中学生)

(相対的貧困層 N=123 それ以外 N=1242)

(相対的貧困層 N=109 それ以外 N=858)

保護者の状況と子どもとの関わり＜小括＞

保護者の最終学歴について見れば、母親では「高校卒」がもっとも多く、父親では「高校卒」と「大学卒」がほぼ同じ割合です。父親の学歴が高く、大学卒の割合は3割を超えており、母親よりも15ポイント以上高くなっています。相対的貧困層では、父親と母親ともに、「中学校卒」と「高校中退」の合計が約25%で、「その他」に比べて明らかに高いことがわかります。また、ひとり親世帯ではふたり親世帯に比べて、母親、父親ともに「中学校卒」、「高校中退」の割合が高く、「大学卒」の割合が低くなっています。

保護者の就業形態について見れば、母親は「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1ヵ所に勤務）」が半数近くに上り、「勤め（常勤・正規職員）」は2割程度であるのに対して、父親では「勤め（常勤・正規職員）」が8割を超え、「自営業・家業」を加えると、96%を超えています。

保護者が子どものためにすることでは、「ほとんど毎日」という回答は、「食事」と「洗濯」で小学生、中学生の保護者ともによそ9割ですが、「部屋の掃除」は小学生の保護者で約5割、中学生の保護者で約4割です。

各種行事への参加について見れば、子どもの学校行事や日帰りで遊びに行く割合は高いですが、小学生に比べて中学生では保護者の参加が全般的にやや低いことがわかります。ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて、ほぼすべての項目で割合が低くなっています。

子どもと一緒にすることでは、小学生と中学生の保護者で大きな開きがあり、小学生で「ほぼ毎日する」という回答は多いものから、「学校生活の話をする」「一緒にテレビを見る」「宿題をするように注意する」「勉強を見る」の順ですが、中学生の保護者では「一緒にテレビを見る」「学校生活の話をする」「宿題をするように注意する」の順となり、それらの割合がいずれも小学生の保護者よりも明らかに低くなっています。ひとり親世帯では、ふたり親世帯に比べて、「学校生活の話をする」頻度がやや低いことがわかります。